




2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 戸ノ上中学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	全校生徒 324人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科等名（ 特別活動「学校行事」 ）</p> <p>② 行事名（ 平和の祭典 TONOUE 2020 ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	<p>体育大会、文化総合発表会の代替の取組として、集団行動のクラスマッチを軸にした「平和の祭典 戸ノ上2020」を実施することを通して、オリ・パラ教育推進事業の推進を図るとともに、生徒の団結力を深め、生徒同士の人間関係を深めると同時に、自己の所属感、有用感をもたせる。</p>
5 取組内容	<p>「オリンピック憲章の理念のもとで行う集団行動のクラスマッチとオリンピック風の式典」をコンセプトにした『平和の祭典TONOUE 2020』</p> <p>【オリンピックをモチーフにした開閉会式】</p> <p>オリ・パラ教育推進事業の予算を生かすことを踏まえ、以下の内容を開閉会式に設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聖火（入場から点火まで） ○金銀銅メダルの授与と表彰台 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <ul style="list-style-type: none"> ○文化部の活躍の場の保障 <p>美術・イラスト部…旗（右図6m×6m）の作成 合唱部…校歌斉唱 ※コロナ禍のため少数精鋭での校歌 放送部…アナウンスや放送の一切を担当</p>



○3年女子有志によるダンス



○戸ノ上中学校伝統の応援団（有志）による演舞
※今年で12年目を迎える地域から評判の応援団演舞。



【集団行動（保健体育科学習）のクラスマッチ】

○保健体育科「集団行動」の授業の成果をクラスごとに発表する。

（1年…規定演技 2年…規定演技+創作演技 3年…創作演技）



6 主な成果

オリンピック憲章の理念と大会の理念を結び付けた取組であること、聖火や金・銀・銅メダルの授与などオリンピック風の式典を行ったことは、生徒たちのオリンピック・パラリンピックへの興味・関心の向上につながったと考える。

また、コンクール形式のクラスマッチ、伝統の応援団の継承など、体育大会や文化総合発表会で本来行いたかった取組も実現でき、生徒たちの満足度も高い取組になった。

7実践において工夫した点（事業の特色）

様々な取組が中止になる中、生徒たちの自治能力の育成や自己実現の場の保障、そして、何より3年生の思い出に残る取組として、生徒会と教員が連携しながら企画・運営を行うようにした。開閉会式の内容も生徒たちが決め、できるだけ実現するように可能な範囲で運営を意図的・計画的に行った。

8 主な課題等	<p>コロナ禍で中止になった「体育大会」「文化祭」「合唱コンクール」の代替の大会として実施できた取組である。保護者の参観がないため、スペースがあるため、安全面をそこまで気にせずに聖火点灯等の取組ができた。また、聖火や6m×6mの大型の旗など、オリ・パラ教育推進事業の予算があったからこそ作成できた道具もある。</p> <p>オリパラ推進の予算を含め、「体育大会」「文化祭」「合唱コンクール」が中止になったからこそできた取組でもある。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>上記8の項で述べたが、オリパラ推進の予算を含め、次年度が本年度同様コロナ禍で「体育大会」「文化祭」「合唱コンクール」を中止することが決定すれば、『平和の祭典TONOUE 2020 ▶21』として実施する予定である。</p>